

10/26.28 稲刈り体験

結小学校・牧小学校の5年生が地元の人に協力してもらい稲刈り体験を行いました。地域について学ぶふるさと学習の一環で6月に児童たちが田植えをしたもので、結小学校ではハツシモを、牧小学校では古代米を収穫しました。どちらの小学校も鎌で稲を刈り、米作りの大変さを実感しました。

結小学校では、稲を刈った後、刈りとった稲の束ね方も学びました。児童は「稲を束ねるのが難しかったです。力を使って大変だったけど、楽しくできました」と話してくれました。

牧小学校の古代米は、穂が黒色なのが特徴的でもち米として利用されます。束ねた稲を足踏式脱穀機を利用して昔ながらの脱穀も体験しました。児童は「脱穀機の回転が早くて難しかったです。昔の人は大変な作業をしていたことが分かりました」と話してくれました。



▲手作業は時間がかかります



▲稲を束ねるのにはコツがいります



▲初めての脱穀機

11/4 自衛隊職業講話

登龍中学校2年生を対象に、自衛隊大垣地域事務所の村田洋介所長による職業講話が行われました。

例年行われている職場体験がコロナ禍で行えない中、生徒に将来を考えるきっかけにしておらおうと開催されたものです。生徒は自衛隊の仕事内容や、魅力などの講話を聞いた後、質問を行い理解を深めました。

代表生徒は「思っていたイメージと違って、初めて知ることばかりで驚きました。将来の道として選択肢が増えました」と話してくれました。



▲所長に質問する生徒

11/10 化学実験の出前講座

住友化学株式会社岐阜プラント社員の皆さんが、地元にある牧小学校6年生に化学の面白さ、楽しさ、不思議さを体験してもらおうと出前授業を開催しました。この取り組みは2005年から毎年行われています。

実験では、化学反応を利用して人エイクラを作ったり、液体窒素を使い風船を冷やしたり、凍らせたゴムボールを割ったりしました。

代表児童は「液体窒素でゴムボールが硬くなりびっくりしました。様々な実験ができて楽しかったです」と話してくれました。



▲雲の発生に驚く児童